

ウラジオストク滞在に関する報告について（3月分）

1. ウラジオストク国立経済サービス大学（ブグェス）での授業について

月	火	水	木	金
	会話・読解	文法・作文	会話・読解	文法・作文
			文法・作文	

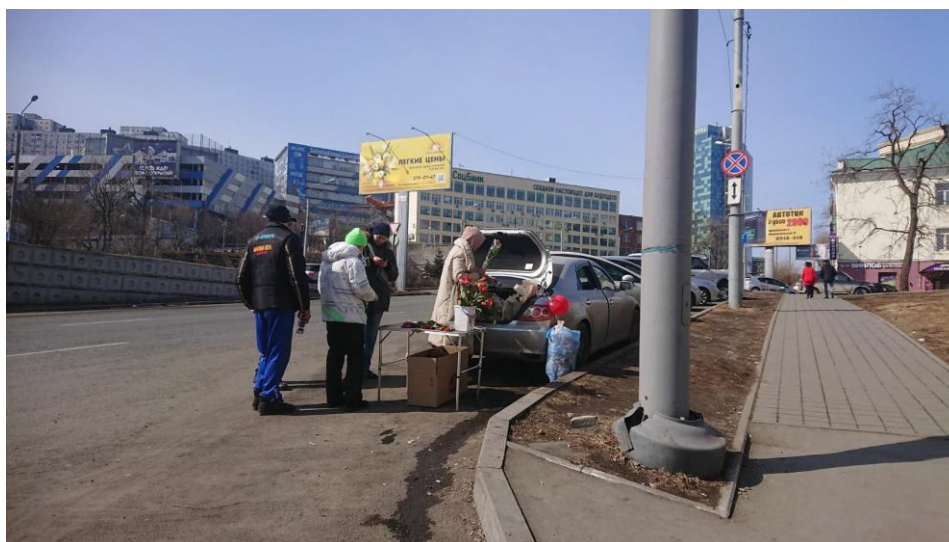
2月中旬に担当講師が新型コロナウイルスに感染したため、3月は、下記研修の合間を縫って、上記の時間割とは別に補講も受ける日々が続きました。帰国した3月19日（土）以降は、日本からオンラインで授業に参加しました。

2. 沿海地方政府への研修派遣

2月28日（月）から3月11日（金）までは沿海地方政府の出先機関である観光情報センターに派遣されました。将来的に日本人観光客が訪露した際に役立つパンフレットのロシア語から日本語への翻訳、ウラジオストクの観光地の日本語でのPR文章の作成等を行いました。

3. 国際女性デー

3月8日の国際女性デーは、ロシアをはじめとする旧ソ連諸国において、女性を讃え、愛情や尊敬の念を伝える非常に大切な日です。私も日頃お世話になっている担当の講師や友人に花束を贈りました。例年、3月8日が近づくと町中で花が売られはじめ、いつでもどこでも買うことができます。



（写真1 車のバックドアを利用して路上でチューリップを売る人）

4. 帰国

3月上旬には、ロシアが非友好国とした国との間で多くの国際線の運航が休止となり、ウラジオストク・成田間の直行便も休止となりました。このような状況を受け、不測の事態に備え、3月末に帰国予定だった日程を10日ほど前倒して、3月18日（金）に

ウラジオストクを出発し、モスクワ、カタール（ドーハの首都）を經由して、3月19日（土）に帰国しました。通常であれば2時間半で帰国できるはずが、約1日半かけて帰国することになり、突然遠い国に変わってしまいました。

5. ウラジオストク市内の状況について

- ・治安状況

3月に当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありませんでした。

- ・市内の様子

2月24日（木）のロシアによるウクライナへの軍事侵攻を発端とする経済制裁の影響を受け、3月中には、食料品が値上がりしたり、ビザやマスターカードのクレジットカードが使えなくなったりと、少しずつ生活にも影響を感じるようになりました。

- ・気候

3月のウラジオストクも引き続き、厳しい寒さが続きました。ただ、雨や雪が降るようなことはなく、晴天の日がほとんどでした。